

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3 年 3 月 25 日

公表:令和 3 年 3 月 31 日

事業所名 リバティキッズ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2 職員の配置数は適切である	8		保育、心理、言語、作業の発達知識と経験を有する専門家がチームでサービスを提供している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	1	・構造化はしっかりと行っている。 ・無回答1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		・換気や手指消毒に加え、子どもと家族が快適に過ごせるように配慮しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1		・利用児の発達目標達成に向けて、try&errorを繰り返している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			・今後は母子分離も行っていくので、動画やカメラで別室から見られるようにする。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2	・HPに掲載していた。 ・無回答1	・HPへの掲載はあまり認知されていなかったため、広報していく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	・無回答1	・今後検討する。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		・適宜職員研修を行っている。	・交流する機会ができたと思う。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		・保護者同席のため、都度アセスメントを行っている。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		・田中ビネー、新版K式発達検査、WISC4、Vineland2	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		・保護者同席のため、都度アセスメントを行っており、話し合いを重ねて計画を作成している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		・子どもの発達に合わせているので、固定化してしまうプログラムもある	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8		・子どもの状況に合わせて、個別集団、さらに集団の人数も工夫して作成している。 ・その子の現状に合わせて人数での集団活動を行っている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	8				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				・該当者なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				・該当者なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8			・幼保、こども園へ行き、情報共有している	・もっと様子を知れたらいいと思う。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8			・新一年生の保護者への支援(情報提供・ペアレント・トレーニング)は丁寧に行っている。	・もっと様子を知れたらいいと思う。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7				
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1		・事業所近くの公園で、近所の子どもたちと遊んでいる。 ・無回答2	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7			無回答3	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			・保護者同席をお願いしていますので、毎回情報共有、アセスメントを行っています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8			・プレスクールにおいて、小学校入学にあたり、必要なことを保護者を対象にペアレント・トレーニングを行った。	・保護者から「ペアレント・トレーニングをもっと行ってほしい」という要望が多々あるため、開催頻度を上げていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			・契約時に必ず行っている。	・契約時のみの説明だと勘違いが発生する場合があった。都度説明が必要だと思う。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			・適宜、相談をお受けしております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1		・今年度はコロナの関係で開催ができなかった。	・安全を配慮して少しずつ開催できればいいと思う。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			・保護者からの相談には、迅速に、丁寧に対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2		・無回答1	・今後検討する
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8			・個人情報に記載された書類はシュレッターで破棄をする。	・個人情報には配慮しているが、何気ない保護者間の会話が聞こえてしまう場合があるため、適宜声掛けを行っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			・細やかな連絡や子どもの様子を丁寧に伝えることに配慮している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4		無回答1	・今後検討する
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6			・集団療育中での避難訓練は行っている。 ・無回答2	・個別療育中での避難訓練は行えていなかったため、行っていく。 ・保護者には周知できていなかったため、訓練の周知を行っていく。 ・アンケート項目が裏面だったため無回答者がいた。周知していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			・無回答2	・個別療育中での避難訓練は行えていなかったため、行っていく。 ・保護者には周知できていなかったため、訓練の周知を行っていく。 ・アンケート項目が裏面だったため無回答者がいた。周知していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			・無回答2	・アンケート項目が裏面だったため無回答者がいた。周知していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				・該当者なし	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			無回答4	・アンケート項目が裏面だったため無回答者がいた。周知していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			・無回答2	・アンケート項目が裏面だったため無回答者がいた。周知していく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6			・職員全員が、きちんと対応について理解できるように話し合いはしている。 ・無回答2	・アンケート項目が裏面だったため無回答者がいた。周知していく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。